

平成28年度業務実績報告における各小項目の自己評価結果一覧

【小項目評価基準】
 評価5・・・年度計画を大幅に上回って実施している。 評価2・・・年度計画を十分に実施できていない。
 評価4・・・年度計画を上回って実施している。 評価1・・・年度計画を大幅に下回っている。
 評価3・・・年度計画を順調に実施している。

参考資料5

大項目	小項目	ウエイト	自己評価結果		28年度業務実績における自己評価の内容		
			28年度	(参考) 27年度			
第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置							
1 医療サービス	(1) 良質な医療の実践	こども病院	2	4	4	周産期センターについて高い病床利用率を達成するとともに、更にNICUの増床やMFICUの新設や麻酔科・手術部の24時間即応体制による受入体制強化、運動器センターや国際医療支援センターの新設、さらに、川崎病センターや先天性心疾患に係る手術症例数が全国一位となったことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。	
		市民病院	2	3	4		
	(2) 地域医療への貢献と医療連携の推進	こども病院	2	4	3→4		カンファレンス開催や病院訪問により病病・病診連携の強化を図るとともに、「福岡県母体搬送コーディネーター事業」への参加、さらに、積極的な病院訪問による開放型病床登録医数が増加したことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4		円滑な患者の受入や退院・転院調整の充実に努め、すべての指標について目標値を上回ったことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
	(3) 災害時等の対応	こども病院	1	4	3		災害発生に備えた準備等の徹底や、市民病院における福岡メディカルラリーでの優勝、さらに、熊本地震において、迅速な救援物資の提供や入院患者の搬送支援、医師の派遣等を適切に行ったことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院					
2 患者サービス	(1) 患者サービスの向上	こども病院	2	4	4	退院時アンケートの結果等を踏まえた患者サービスの向上に努めるとともに、相談業務の強化やホームページによる24時間外来診療予約受付の開始、また、患児家族滞在施設(ふくおかハウス)円滑な運営に協力し高い利用率を達成するなど、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。	
		市民病院	2	3	3→4		
	(2) ボランティアとの共働	こども病院	1	3	3		
		市民病院	1	3	3		
3 医療の質の向上	(1) 病院スタッフの確保と教育・研修	こども病院	2	4	4	インターンシップや病院説明会を開催し意欲ある人材の確保に努めるとともに、外部講師の活用等による充実した研修を実施し職員のスキルアップに努めたほか、院内保育所の利用時間拡大や職員の語学力向上への取組など職員が働きやすい環境づくりを推進したことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。	
		市民病院	2	4	4		
	(2) 信頼される医療の実践	こども病院	2	4	4		神経内科医等の増員により高度専門医療の充実を図るとともに、医療安全管理体制確保等の教育研修を実施するなど院内研修の充実を図ったほか、職員が長く働き続けられる職場環境づくりを推進し年休取得率等も向上したことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院	2	4	4		院内および他医療機関等の連携による感染防止対策強化等の医療安全対策徹底を図るとともに、患者・家族に対して十分な説明を行うなど患者中心の医療を実践したほか、薬剤管理指導・栄養食事指導の件数とも目標値を上回ったことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
	(3) 法令遵守と情報公開	こども病院	1	3	3		院内および他医療機関等の連携による感染防止対策強化等の医療安全対策徹底、インシデント報告の徹底や要因分析による再発防止に努めるとともに、クリニカルパス活用により治療内容可視化に努めたほか、薬剤管理指導・栄養食事指導の件数とも目標値を上回ったことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。
		市民病院					
第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置							
1 自律性・機動性の高い運営管理体制の充実		こども病院	1	3	3		
		市民病院					
2 事務部門等の専門性の向上		こども病院	1	3	3		
		市民病院					
3 意欲を引き出す人事・給与制度等の導入		こども病院	1	3	3		
		市民病院					
第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置							
1 経営基盤の強化	(1) 運営費負担金の縮減に向けた経営基盤の確立	こども病院	2	3	3		
		市民病院					
	(2) 投資財源の確保	こども病院	1	3	3		
		市民病院					
2 収支改善	(1) 増収	こども病院	2	4	3	効率的な病床管理による病床利用率の向上や高難易度の手術の増加に伴う診療単価向上により入院収益が大幅に増額したほか、集中治療系病床の再編による重症患者の円滑な受入に取り組み新生児加算の算定患者の増加に繋がったことや、長期滞納者への法的措置を適切に実施したことから、「年度計画を上回って実施している」と判断し、「4」とした。	
		市民病院	2	3	4		
	(2) 費用削減	こども病院	2	3	3		
		市民病院					
	(3) 収支改善	こども病院	2	3	3		
		市民病院					
第4 その他業務運営に関する重点事項を達成するためとるべき措置							
1 新病院の整備及び運営に関する取組		こども病院	2	5	4	川崎病センターや先天性心疾患に係る手術症例数で全国一位となったほか、MFICUの新設、麻酔科・手術部の24時間即応体制の確保、NICUの増床などにより胎児ハイリスク症例や重症度の高い症例の円滑な対応の整備、臨床研究部の設置など、高度小児専門医療を担う病院として重要な役割を担ったことから、「年度計画を大幅に上回って実施している」と判断し、「5」とした。	
		市民病院					
2 福岡市民病院の経営改善の推進		市民病院	2	3	4		